

平泉文化セミナー 第35回例会

平泉文化研究センターでは、東アジアにおける総合的「平泉学」の構築を図るための一環として、平泉文化セミナーを定期的に関催しております。

今回は、第35回例会として下記により開催しますので、ふるってご参加ください。参加費は無料です。

毛越寺庭園の変遷

平泉町役場 まちづくり推進課
課長
岩手大学平泉文化研究センター
客員准教授

八重樫 忠郎氏

毛越寺庭園では、発掘調査により新旧2時期ある遺構が、何カ所かで確認されている。その遺構とは、東門、通路、排水路、中島などである。特に排水路は、高低差が数十センチあることから、池の深さそのものを規定する重要な要素といえる。さらに中島は、三角形の形を勾玉状に大きくしていた。これらの結果から、大泉が池が大きく改変されていることは、容易に想像できる。今回の発表では、これらの遺構を整理し、新旧2時期毛越寺庭園を明らかにしてみたい。

平成29年11月20日(月) 17:00～18:30
岩手大学教育学部2号館1階162講義室

【本件に関する問い合わせ先】 岩手大学平泉文化研究センター事務局
〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-33 019-621-6529 E-mail ryukaiu@iwate-u.ac.jp